

以下の5問題の中から2問題を選択し、400字以内で解答してください。解答用紙の右上に、選択した問題番号を○で囲んでください。

問1 企画・計画分野

あなたがこれまで関わった自然再生事業において、どんな目標をどのように設定したかについて、とくにモデル（自然再生のお手本）と環境ポテンシャル（どの程度の生態系が形成できるかの潜在的可能性）について触れながら論述しなさい。

その際、できる限り具体的な事業地についての概要を記すとともに、具体的な目標種や目標生態系を挙げて論述しなさい。

ただし、これまでに具体的な事例への関与がない場合は、想定の上での内容でも可とします。（400字以内）

問2 設計・設計監理分野

コウノトリの野生復帰事業については、兵庫県の豊岡市で先駆的な事業が展開されている。関東地方でも新たに野田市や流山市など、利根川・江戸川水系を中心とした自治体が、コウノトリの生息を目指して事業を展開しつつある。このような貴重種の野生復帰事業は、今後各地で推進される可能性がある。こうした事業を進めるうえで、想定される課題とその対応策を論述しなさい。（400字以内）

問3 施工・施工管理分野

近年、防災を兼ねた自然再生を行うことが期待されるようになりつつあるが、既存林において、豪雨災害に強い森づくりのポイントを、土砂災害の発生メカニズムと併せて論述しなさい。（400字以内）

問4 維持管理分野

長年放置されていた里山の樹林について、想定される状況を、地域を特定して説明し（例えば関東地域など）、そのように放置されていた樹林があった場合の管理のポイントを論述しなさい。（400字以内）

問5 市民活動分野

里山の管理においては、新しいレクリエーションの場として里山を活用するなど、複数の利用形態が存在するとともに、里山の機能が多様なことに対応して、里山ボランティア等の掲げる基本的な目標像も多種多様なのが一般的である。

コーディネーターとしての立場から、一つのフィールドに複数の目標を持つグループが存在する際に、対立する目標を調整するために工夫すべき事項を、グループの活動を具体的に挙げて論述しなさい。（400字以内）